

## 執筆者紹介（掲載順）

- 執筆者 ①職位（所属）、②専門分野、③主な担当科目、  
④教育・研究業績、地域貢献などの紹介
- 井上 敏昭 ①教授（福祉総合学部）  
②文化人類学 極北先住民文化研究  
③人間学、国際福祉論、ゼミナールⅠ・Ⅱ、社会福祉専門研究Ⅰ・Ⅱ、  
生活と環境、福祉社会演習（大学院福祉総合学研究科）  
④日本文化人類学会会員、歴史人類学会会員、The International Union  
of Anthropological and Ethnological Science 会員。八街市地域自立支  
援協議会顧問。著書：『贈与論再考：人間はなぜ他者に与えるのか』（共  
著）臨川書店、『開発と先住民族』（共著）明石書店、論文：「サケ資  
源の管理権限の獲得を目指すユーコン川流域先住民社会の取り組み」  
『環北太平洋地域の先住民文化』（国立民族学博物館調査報告132岸  
上伸啓編）pp.181-202. 「障害者の、障害者による、障害者のための  
NPO：Center for Independent Living」『福祉経営力を備えた社会福  
祉士養成教育に資する先進事例調査』（城西国際大学福祉総合学部福  
祉経営学科）pp.27-37 など。
- 堀 千鶴子 ①教授（福祉総合学部）  
②社会福祉学  
③女性福祉論、ソーシャルワーク論Ⅰ、精神保健福祉援助技術総論、  
精神保健福祉実習指導Ⅰ・Ⅱ他
- 栗原 靖  
（第一著者） ①助教（城西国際大学福祉総合学部理学療法学科）  
②スポーツ、バイオメカニクス  
③運動学実習、理学療法学セミナーⅠ、他  
④ Y Kurihara, et al.: The relationship between movement of shank while  
running and foot alignment factors that lead to the onset of Achilles  
peritendinitis. J Phys Ther Sci, 2019, 31: 227-231.  
栗原靖, 他.: ランニング動作の足部の運動特性とランニング障害発  
症因子の関連性 ～足関節背屈制限, 扁平足形状, 下肢力学因子に着  
目して～. 日本臨床スポーツ医学会誌, 2019, 27: 53-60.
- 大杉 紘徳  
（第一著者） ①助教（福祉総合学部理学療法学科）  
②地域リハビリテーション  
③理学療法評価学実習Ⅰ、他  
④大杉紘徳・他: 地域在住高齢者に対する自主運動実施指導の効果.  
ヘルスプロモーション理学療法研究, 9(2): 83-89, 2019.

- 林 和歌子 ①准教授（福祉総合学部）  
②高齢者福祉、ソーシャルワーク方法論  
③人間関係とコミュニケーション、コミュニケーション技法Ⅰ、ソーシャルワーク演習Ⅱなど  
④日本社会福祉学会会員
- 橋本 理子 ①助教（福祉総合学部）  
②社会福祉学 地域社会福祉史  
③地域福祉論、ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク実習指導など  
④（論文）「地域社会福祉史研究の視点と方法」（単著 社会事業史研究／社会事業史研究編集委員会 編（56），2019）など。
- 大内 善広 ①准教授（福祉総合学部福祉総合学科）  
②教育心理学、教育評価  
③心理学、保育の心理学Ⅱ、教育心理学など  
④日本教育心理学会会員。論文「通信簿の評定結果の納得感に及ぼす指導と評価に関する教師の取組みの効果」(教育心理学研究第54巻第4号, 2006年, 共著：萩原康仁・大内善広)にて城戸奨励賞受賞。
- 野澤 義隆 ①講師（東京都市大学人間科学部）  
②社会福祉学、児童家庭福祉
- 萩原 康仁 ①総括研究官（国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部）  
②教育評価・測定